

# 感染状況・医療提供体制の分析(4月12日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細  
➡



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (4月5日時点)	現在の数値 (4月12日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	485人 (25.8人)	510人 (27.2人)	➡	感染状況コメント レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている  陽性者は <u>人口10万人当たり27.2人</u> と微増。季節性インフルエンザ注意報発令継続中。全国的に下げ止まり。地域によっては増加に転じている。年度始めの感染リスクが高まる場面の増加、免疫の減衰、変異株の置き換わり等が今後も感染状況に影響を与えられる。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じた(感染を広げないため、感染から身を守るため等)マスクの適正使用が必要。
		60歳以上 (総数に占める割合)	131人 (27%)	129人 (25%)	➡	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	177人	190人	➡	
		倉敷市保健所	99人	97人	➡	
		備前保健所	47人	52人	➡	
		備中保健所	63人	80人	➡	
		備北保健所	27人	24人	➡	
		真庭保健所	11人	7人	➡	
美作保健所	28人	35人	➡			
その他	33人	25人	➡			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	29人 (5%)	20人 (3%)	➡	医療提供体制コメント レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる	
	④宿泊療養者数	7人	11人	➡	入院患者数は減少。医療提供体制としては落ち着いている。リスクのある方が悪化しやすいのは変わらない。	
	⑤自宅療養者数	520人	490人	➡		
	⑥重症者数	1人	1人	➡		